

定期健康診断結果報告書記入例

【対象年】

報告を対象とした健康診断の実施年を記入。

【(月～月分)】には一定期間まとめて報告する場合の期間を記入。

【(報告 回目)】には当該年において何回目の提出かを記入。

【(*)】

イ～カには下記特定業務に常時従事する労働者数を記入。また、計にはイ～カの合計を記入。

なお、下記の業務に常時従事する労働者についてはは6ヶ月毎以内に1回、定期健康診断を実施する必要があります。

特定業務一覧(労働安全衛生規則第13条第2号に掲げる業務)

- イ 高熱業務
- ロ 寒冷業務
- ハ 有害放射線業務
- ニ 粉塵業務
- ホ 異常気圧業務
- ヘ 振動業務
- ト 重量取扱業務
- チ 騒音業務
- リ 坑内業務
- ヌ 深夜業を含む業務
- ル 有害取扱業務水銀・砒素・黄りん・弗化水素酸・塩酸・硝酸・硫酸・青酸・力性アルカリ・石炭酸その他これらに準ずるもの
- ロ 有害ガス・蒸気・粉塵接触業務鉛・水銀・クロム・砒素・黄りん・弗化水素・塩素・塩酸・硝酸亜硫酸・硫酸・一酸化炭素・二酸化炭素 青酸・ベンゼン・アニリンその他これらに準ずるもの
- ワ 病原体汚染業務
- カ その他労働大臣が定める業務

【産業医】

選任している産業医の氏名・所属先その住所を記入し、当該産業医の確認印をもらう。

※数力所勤務している医師もいるので所属先について産業医の確認が必要

※ 見本の為に青色で記入しています。実際に記入する際は黒のボールペンでご記入下さい。

※ 健診会社が健康診断結果報告書の見本を作成してくれる場合があります。

【労働保険番号】

事業所の保険番号を確認し、記入して下さい

【健康診断年月日】

健康診断を何回かに分けて実施まとめて記入する場合は最終年月日を記入

【在籍労働者】

健診実施年月日現在の常時使用する労働者数を記入(短期間のみの労働者は含めなくても良い)

【受診労働者】

健診実施年月日現在の受診労働者数を記入

【健康診断項目】

項目毎の健康診断「実施者数」と、項目毎の「有所見者数」を記入。(健診会社が有所見者数を抽出してくれる場合があるので健診会社に確認)

【所見のあった人数】

何らかの項目に所見のあった者の人数を記入。項目毎の健康診断「実施者数」と、項目毎の「有所見者数」を記入。(健診会社が有所見者数を抽出してくれる場合があるので健診会社に確認)

【医師の指定人数】

「所見のあった者の人数」のうち、要医療・要精密検査など医師の指示があった者の人数を記入

【歯科検診】

労働衛生規則第47条関係の歯科検診を実施した場合は、その実施者数・有所見者数を記入。

【事業者職氏名】

代表者印の押印と代表者職氏名を忘れずに記入

様式第6号(第52条関係)(表面)

定期健康診断結果報告書

労働保険番号: 80311

対象年: 7:平成 7 2 6 (1月～6月分) (報告1回目) 健診年月日: 7:平成 7 2 6 6 1 0

事業の種類: サービス業 事業場の名称: ○○○株式会社

事業場の所在地: 郵便番号(650-0021) 兵庫県神戸市中央区三宮町○丁目○番地 電話 078(392)0000

健康診断実施機関の名称: サナシオクリニック 在籍労働者数: 00100

健康診断実施機関の所在地: 兵庫県神戸市中央区三宮町1-4-4 3階 受診労働者数: 00100

健康診断項目	実施者数		有所見者数	
	実施者数	有所見者数	実施者数	有所見者数
聴力検査(オージオメーターによる検査)(1000Hz)	00100	0001	00100	0008
聴力検査(オージオメーターによる検査)(4000Hz)	00100	0004	00100	0015
聴力検査(その他の方法による検査)	00000	0000	00100	0009
胸部エックス線検査	00100	0001	00099	0001
喀痰検査	00000	0000	00099	0004
血圧	00100	0010	00100	0003
貧血検査	00100	0002	00100	0000
肝機能検査	00100	0000	00100	0000
血中脂質検査	00100	0000	00100	0000
血糖検査	00100	0000	00100	0000
尿検査(糖)	00100	0000	00100	0000
尿検査(蛋白)	00100	0000	00100	0000
心電図検査	00100	0000	00100	0000
計	00100	0012	00100	0012

所見のあった者の人数: 0021 医師の指示人数: 0010 歯科検診: 0000

産業医: 氏名 田中 太郎 所属医療機関の名称及び所在地 兵庫県神戸市中央区○○△丁目△番地

平成26年 7月 20日

労働基準監督署長殿 事業者職氏名 ○○○株式会社 代表取締役社長 田中 二郎 受付印

様式第6号（第52条関係）（裏面）

備考

- 1 □□□で表示された枠（以下「記入枠」という。）に記入する文字は、光学的文字・イメージ読取装置（OCIR）で直接読み取りを行うので、この用紙は汚したり、穴をあけたり、必要以上に折り曲げたりしないこと。
- 2 記入すべき事項のない欄及び記入枠は、空欄のままとすること。
- 3 記入枠の部分は、必ず黒のボールペンを使用し、枠からはみ出さないように大きめのアラビア数字で明瞭に記入すること。
- 4 「対象年」の欄は、報告対象とした健康診断の実施年を記入すること。
- 5 1年を通し順次健診を実施して、一定期間をまとめて報告する場合は、「対象年」の欄の（月～月分）にその期間を記入すること。また、この場合の健診年月日は報告日に最も近い健診年月日を記入すること。
- 6 「対象年」の欄の（報告 回目）は、当該年の何回目の報告かを記入すること。
- 7 「事業の種類」の欄は、日本標準産業分類の中分類によって記入すること。
- 8 「健康診断実施機関の名称」及び「健康診断実施機関の所在地」の欄は、健康診断を実施した機関が2以上あるときは、その各々について記入すること。
- 9 「在籍労働者数」及び「受診労働者数」の欄は、健診年月日現在の人数を記入すること。なお、この場合の「在籍労働者数」は、常時使用する労働者数を記入すること。
- 10 （*）の欄は、健診年月日現在において、労働安全衛生規則第13条第1項第2号に掲げる業務に常時従事する労働者を記入することとし、2以上の号別（イ～カ）に該当するものについては、主として従事する業務の欄に記入すること。
- 11 「所見のあつた者の人数」の欄は、各健康診断項目の有所見者数の合計ではなく、「聴力検査（オージオメーターによる検査）(1000Hz)」から「心電図検査」までの健康診断項目のいずれかが有所見であつた者の人数を記入すること。
- 12 「医師の指示人数」の欄は、健康診断の結果、要医療、要精密検査等医師による指示のあつた者の数を記入すること。
- 13 「産業医の氏名」の欄及び「事業者職氏名」の欄は、氏名を記載し、押印することに代えて、署名することができること。